人口減少に打ち勝ち、笑顔で暮らせる島根をつくる
島根創生
SHIMANE SOUSEI 2nd

令和6年度
ふるさと島根寄附金活用事業成果報告書
～寄附金を活用した事業～

ふるさと島根寄附金を通して島根県をご支援いただきありがとうございます。

いいけん、
島根県

★令和6年度は1,806件、40,044,200円の寄附をいただきました。

多くの方からご寄附をいただき、誠にありがとうございました。

いただいたご寄附は島根県の課題解決のために活用させていただきます。
引き続き、島根県へ応援をよろしくお願いいたします。

Ⅰ　活用成果の概要

寄附メニュー	寄附を活用した事業費	令和6年度寄附額	頁
産業の振興（※1）	15,350千円	1,832,000円	2
自然環境の保全	8,051千円	2,396,000円	5
医療・福祉の充実（※2）	23,838千円	2,860,500円	7
教育・文化の振興	49,292千円	2,320,000円	11
子どもの読書活動の促進	3,659千円	3,093,000円	17
竹島の領土権の確立	11,677千円	2,758,000円	19
森林の保全及び整備	4,234千円	926,000円	20
防災対策の推進	1,399千円	462,700円	21
移住・定住の促進	49,497千円	3,247,000円	22
結婚・出産・子育ての支援	674千円	2,117,000円	24
災害への応急対応及び復旧	20,000千円	904,000円	25
指定なし（※3）	―	17,128,000円	
合計	187,671千円	40,044,200円	

いただいた寄附金は、ふるさと島根基金に積立て、令和6年度の事業に一部を活用させていただきました。

寄附額が目標額に達しなかった場合は、これまでに積み立てた基金から不足額を補い、目標額を超えた場合は、次年度以降に活用します。

※1「産業の振興」への寄附金の一部は「移住・定住の促進」に配分。
※2「医療・福祉の充実」への寄附金の一部は「教育・文化の振興」の事業と併せて活用。
※3「事業の指定なし」分は「医療・福祉の充実」「移住・定住の促進」に配分。

Ⅱ　寄附金を活用して実施した事業の成果

1　産業の振興

【対象事業】

(1) 伝統的工芸品展出展支援事業・伝統工芸品販路拡大支援事業
（未来へつなぐ工芸品総合振興事業）
(2) 島根県グローカル人材育成支援事業

【事業の概要及び事業費】

(1) 伝統的工芸品展出展支援事業・伝統工芸品販路拡大支援事業
（未来へつなぐ工芸品総合振興事業）（事業費：5,970千円）

東京都及び大阪府で開催される伝統的工芸品展に島根ブースを設け、首都圏及び関西圏の消費者に島根県の伝統的工芸品のＰＲを行うことで、県内の工芸品の販路拡大を推進しました。

【大阪会場：阪急うめだ本店（大阪市）】
開催日：令和６年７月17日（水）～７月22日（月）
出展者：伝統的工芸品製造事業者（国指定）
出雲石灯ろう（来待石灯ろう協同組合） / 石州和紙（石州和紙協同組合）
ふるさと伝統工芸品（島根県指定）
出雲めのう細工（（株）めのや） / 松江彫り（福田利浩）

出雲石灯ろう

石州和紙

出雲めのう細工

松江彫り

【東京会場：松屋銀座（東京都中央区）】
開催日：令和７年２月19日（水）～２月24日（祝・月）
出展者：伝統的工芸品製造事業者
石見焼
ふるさと伝統工芸品
出雲めのう細工（（株）めのや）
松江彫り（福田利浩）

⑵ 島根県グローカル人材育成支援事業（事業費：9,380千円）

島根県内企業のインターンシップや海外留学を通じて、県内に定着する意欲のあるグローカル人材（グローバルかつローカルな視点を持った人材）の育成を図ることを目的として、県内外の高等教育機関に通う学生を選定し、留学費用の一部を支援しました。

① 留学支援

令和６年度は５名の学生の海外留学を支援しました。

所属	留学先	留学タイトル
島根大学	オーストラリア	島根の魅力を発信＆オーストラリアの教育をお持ち帰り ～オーストラリアで麹ドライバー～
広島大学	アメリカ合衆国	スポーツビジネス大国で学ぶスポーツ×ビジネス×地域づくり ～島根をスポーツで盛り上げるためには～
神戸大学 （大学院）	ポーランド	島根の地方創生の実現に向けた「ふるさと教育」 - 魅力ある地域社会を目指した教育環境の提案 -
神戸大学	デンマーク	多文化共生×食品ロス削減～「食」を通して島根を持続可能にするヒントを SDGs 推進国デンマークで得る～
神戸大学	オランダ	「ウチは大丈夫」をなくせ！備蓄不足という社会ジレンマの解消～ 社会実装の政治的側面を学ぶ留学～

② コミュニティ活動

学生コミュニティ活動として、以下の活動を実施しました。

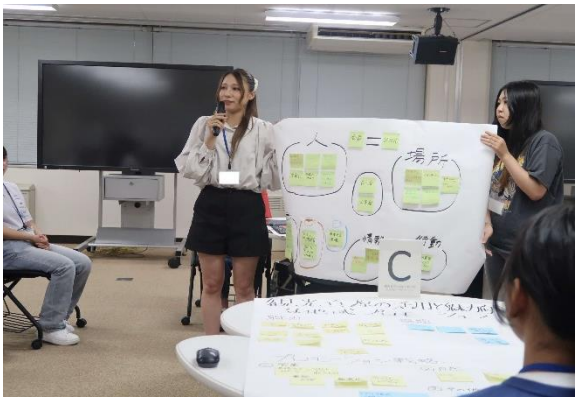
内　容	テーマ・内　容	講師・参加企業
第1回セミナー （R6.6.22）	「観光を入口としたまちづくりへの挑戦 ～1000年続く地域文化を1日の観光から 創り出す～」	㈱WATOWA 近江　雅子

大交流会 （R6.9.19）	・企業PR ・留学報告（8、9期生） ・グループトーク「若者にとって魅力ある島根県の未来とは？」 ・懇親会	㈱オネスト 山陰中央テレビジョン放送㈱ ㈱さんびる ㈱テクノプロジェクト ホシザキ㈱
企業見学会 （R6.9.20）	・会社概要説明 ・現場見学 ・学生との意見交換	㈱ミック 山陰中央テレビジョン放送㈱ ㈱テクノプロジェクト
第2回セミナー （R6.11.29）	「海外×私～しまねで叶える国際留学～」	フジアルテ㈱ 木谷　恵子氏
第3回オンライン セミナー （R7.2.18）	「ただいま留学中！」	第10期留学生2名

丸山知事と留学生４名

留学計画発表の様子

大交流会での集合写真



プレゼンテーションの様子

2　自然環境の保全

【対象事業】
（1）生物多様性保全事業
（2）宍道湖・中海賢明利用推進事業

【事業の概要及び事業費】
（1）生物多様性保全事業（事業費：2,335千円）
　生物多様性を保全し、しまねの豊かな自然環境を守るため、外来種に関し県民の問題意識向上を図ります。また、各地域の貴重な自然に悪影響を与えている外来種の駆除の取組を行い、被害の拡大を防止します。

＜セイヨウスイレン駆除＞
　大山隠岐国立公園三瓶地区の姫逃池において県の天然記念物カキツバタ群落の保全のため、セイヨウスイレンを被覆シートで覆うことで光合成を阻害し、駆除を実施しました。一定程度枯死したため、シートの撤去を行いました。

＜ミシシッピアカミミガメ駆除＞
　河川等に定着しているアカミミガメについて、地元住民と協力し、駆除及び普及啓発活動を実施しました。

＜セイタカアワダチソウ駆除＞
　大山隠岐国立公園三瓶地区において風致景観の改善と在来種の保全を図るため、セイタカアワダチソウの根切りを実施しました。

⑵ 宍道湖・中海賢明利用推進事業（事業費：5,716 千円）

自然豊かな宍道湖・中海への関心を深めてもらうとともに、水質保全等の環境意識を高めラムサール条約の柱である、保全再生、賢明な利用（ワイズユース）、環境教育・交流・普及啓発の事業を実施しました。

① 水辺に親しむ環境学習・普及啓発事業

（ア）宍道湖・中海流入河川調査

小中学校や公民館等で流入河川の水質等の調査を行ってもらい、学習発表会やポスター作成などの優秀な取組を行った団体を表彰しました。（参加団体 29）

② ラムサール・大型水鳥啓発事業

（ア）こどもラムサール交流会

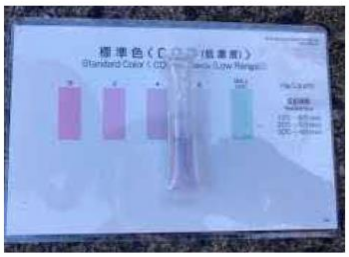
ラムサールびわっこ大使を招待し、中海・宍道湖周辺で日頃から活動している鳥取・島根両県のこども達と交流を図りました。（参加延べ人数 28名）

（イ）ワイズユースイベント

中海周辺をサイクリングやランニング、ウォーキングで自由に巡る「中海バイク＆ラン＋(プラス)」をスタンプラリー形式で行いました。（参加人数 215名）

（ウ）大型水鳥を活用した広域ネットワーク支援事業

トキ・コウノトリが生息できる田んぼビオトープの管理や親子を対象とした調査イベントを開催しました。



宍道湖・中海流入河川調査

こどもラムサール交流会

中海バイク＆ラン＋（プラス）

3　医療・福祉の充実

【対象事業】

⑴ 患者サービスの質の向上に係る環境整備事業
⑵ がん関連図書整備事業
⑶ がん患者社会参加応援事業（医療用ウィッグ等購入経費助成事業）
⑷ ハンセン病の隔離の歴史と人権を学ぶ国立療養所訪問事業
⑸ 戦争体験を語り継ぐ次世代継承事業
⑹ 障がい者施策推進事業（ヘルプマーク普及推進事業）
⑺ 障がい者芸術文化活動支援事業
⑻ 島根「ふるさと」看護奨学金貸与事業

【事業の概要及び事業費】

⑴ **患者サービスの質の向上に係る環境整備事業**（事業費：1,408千円）

患者サービスの向上を図るため経腸栄養ポンプを更新しました。
手術後や重症患者に栄養剤を投与するために使用する経腸栄養ポンプの更新により、安全な機器を使用した医療の提供が可能となっています。

経腸栄養ポンプ

⑵ **がん関連図書整備事業**（事業費：100 千円）

がんに関する知識の普及を図るため、がんの一般知識、治療等に関する図書等を購入し、県立図書館に設置しました。

9月の「がん征圧月間」に図書館で実施したパネル展示を通して、購入したがんに関する図書を紹介、多くの方にがん情報に触れていただく機会となりました。

＜内訳等＞
冊　数　26冊
補助額　100千円
（内、ふるさと島根寄附金100千円）

⑶ がん患者社会参加応援事業（事業費：2,603千円）

がん治療によって乳房切除や脱毛などを余儀なくされた患者さんに対し、補整下着及び医療用ウィッグの購入費を助成することで外見変化に関する悩みを軽減し、社会生活参加を促します。

県のホームページや県内のがん診療連携拠点病院等のがん相談支援センターなどで広報を行い、幅広い年代の方に活用いただきました。

＜内訳等＞

件　数　152件（ウィッグ121件、補整下着 31件）

補助額　2,603千円（内、ふるさと島根寄附金2,100千円）※2万円を上限とし、購入金額の1/2を助成

事業初年度（H29年度）と比較すると申請件数は2倍以上となっており、助成を受けられた方からは「元気が出た」「とても助かる」などのご感想をいただいています。この事業が広まるとともに、がん患者の就労等の社会参加の促進や療養生活の質の向上に寄与していると考えます。

⑷ ハンセン病の隔離の歴史と人権を学ぶ国立療養所訪問事業

（事業費：1,095千円）

公募により募集した７４名に国立療養所長島愛生園を訪問していただき、同園歴史館、史跡見学のほか、ハンセン病回復者の方からお話を聞く機会を設けました。

参加者からは、「今回の学びを周囲の方に伝えていきたい」、「入所者の方からの体験談が、気づきや学びの深まりに繋がった」などの感想が寄せられ、今後のハンセン病問題の正しい知識を知り、理解に繋がっていく機会となりました。

実施日時：令和６年７月３１日（水）

参加者数：７４名

事業費：1,095千円

（内、ふるさと島根寄附金200千円）

⑸ 戦争体験を語り継ぐ次世代継承事業（事業費：102千円）

県内の戦没者遺族会が設置する孫・ひ孫等で構成される会（以下「孫・ひ孫等の会」という。）が行う、語り部養成研修会開催事業及び語り部等継承活動に係る事業に対し必要な補助を行い、もって戦争を経験していない世代へ戦争体験を継承し、戦争非体験者に語り継ぐことを目的とするものです。

① 孫・ひ孫等の会が開催する語り部養成研修会関係

孫・ひ孫等以外のベテランの語り部が講師となって、戦中・戦後における体験談を話しつつ、語り方や伝え方の技術指導を行い、受講者（孫・ひ孫等）の語り部としてのスキルアップを図りました。

孫・ひ孫等の会が開催する語り部養成研修会
（令和６年１１月１２日）

② 孫・ひ孫等の会の会員が行う語り部など継承活動関係

孫・ひ孫等の会が学校等に語り部として講話を行いました。受講者（児童）はベテランの語り部から様々な戦争体験を聴講し、平和の意義を学びました。

学校等での継承活動

⑹ 障がい者施策推進事業（ヘルプマーク普及推進事業）

（事業費：1,230千円）

外見からは援助や配慮を必要としていることが分かりにくい方が、周囲に配慮を必要としていることを知らせるための「ヘルプマーク」の普及を図り、必要とされる方に交付しました。

・ヘルプマークのPRのため、フェイスブック広告、インスタグラムの配信を行い、効果的な周知に努めました。

・障害者週間に合せてあいサポート運動とヘルプマーク啓発用前幕をバス80台に掲載しました。
・障がいの特性や必要な配慮を学び実践する「あいサポート運動」の啓発冊子にヘルプマークの意味や必要な援助を盛り込み、ヘルプマークへの理解を促進しました。

ヘルプマーク交付数　　719枚
あいサポート研修回数　143回

⑺ 障がい者芸術文化活動支援事業（事業費：500千円）

障がい者の個性と能力の発揮及び社会参加を推進することができる文化芸術活動支援の体制づくりの一環として、作品集を作成しました。

【作成部数】 1,000 部
【配布箇所】出展者、事業所等

・島根県障がい者文化芸術活動支援センターを広く知ってもらうための広報ツールとして活用しました。
・障がい者の作品や障がい者文化芸術活動に取り組んでいる事業所・団体等の情報が掲載されているため、県内の文化芸術活動を紹介するツールとして、関係機関等の情報共有に活用しました。
・文化芸術作品のアーカイブとして活用しています。

⑻ 島根「ふるさと」看護奨学金貸与事業（事業費：16,800 千円）

保健師・助産師・看護師又は准看護師（以下、「看護職員」）を養成する学校等に在学し、看護に関する専門知識を修得しようとする方への修学支援を通じて、島根県内における看護職員の確保及び質の向上を図るため、奨学金貸与を（600 千円/人）実施しました。

① 県外からの流入促進策としてUIターン枠での貸与
　→ ７名から応募があり、応募者全員へ貸与
② 過疎地域・離島への就業誘導策として過疎・離島枠での貸与
　→ 19名から応募があり、応募者全員へ貸与
③ 周産期医療提供体制の確保のための助産師枠での貸与
　→ ２名から応募があり、応募者全員へ貸与

４　教育・文化の振興

【対象事業】

⑴ 県所蔵の美術作品を活用した教育文化振興事業

⑵ 島根県立美術館「島根ゆかりの美術」調査研究及び普及啓発事業

⑶ 世界を目指すアスリート支援事業
（国民スポーツ大会競技力向上対策事業）

⑷ 島根の歴史・文化の魅力発信事業
（古代出雲歴史博物館管理運営事業）

【事業の成果及び事業費】

⑴ 県所蔵の美術作品を活用した教育文化振興事業（事業費：999千円）

川本町出身、浜田市在住のメカデザイナーの山根公利氏を紹介する特別展を開催しました。

山根氏に関連するアニメのメカデザインの原画や関連資料約200点を展示し、日本国内のみならず海外からも注目を集める仕事の数々を紹介し、安彦良和氏の企画展「描く人、安彦良和」との同時開催とし、2人の対談や石見神楽を題材としたイラストの競作など島根県でしかできない関連プログラムを行いました。来館者アンケートでは多くの感想をいただき、石見出身の山根公利氏の活躍や仕事を県内外の人に広く知っていただく貴重な機会となりました。

⑵ 島根県立美術館「島根ゆかりの美術」調査研究及び普及啓発事業
（事業費：2,000 千円）

以下の展示を通じて、島根ゆかりの美術家・美術作品について県民によりよく知っていただき、郷土への誇りと愛着を醸成する機会としました。

①「松平不昧の特集展示」

②「奈良原一高の特集展示」

③「シャヴァンヌ・島根ゆかりの写真家の特集展示」

①「松平不昧の特集展示」（令和６年４月 10 日～５月 20 日）

企画展「畠山記念館名品展」の開催にあたり、美術館のコレクション展で松平不昧の特集展示を行い、観覧者の鑑賞を促し、島根の芸術文化への理解を深める機会としました。この展示では不昧に関わる茶道具や書跡をはじめ、出雲焼の特注茶器などを通して、不昧が育んだ茶道文化の跡を紹介しました。普及のための小冊子を作成・配布しました。

②「奈良原一高の特集展示」（令和６年１０月 17 日～令和７年１月 13 日）

奈良原一高作品の受贈記念の第三弾。令和4年度から3年にわたり実施してきました。展覧会案内のはがき、パネルなどをあらたに作成しました。

③「シャヴァンヌの特集展示」（令和６年 11 月６日～12 月 23 日）

「島根ゆかりの写真家の特集展示」（令和7年1月16日～4月14日）

令和6年はピュヴィス・ド・シャヴァンヌの生誕200年にあたり、当館では「水の画題」という視点に加え、あらためてこの視点でコレクションを紹介しました。また奈良原一高・森山大道作品の寄贈を受けて、新収蔵品のお披露目を含めてゆかりの写真家の作品を紹介しました。

普及のための小冊子を作成・配布しました。

「シャヴァンヌの特集展示」

「島根ゆかりの写真家の特集展示」

⑶ 世界を目指すアスリート支援事業
（国民スポーツ大会競技力向上対策事業）（事業費：3,264千円）

全国トップレベルで活躍している島根県のアスリートが世界を舞台に活躍するために更なるレベルアップを図るため、国内や国外での大会や遠征に参加するための経費を支援しました。

＜対象選手＞２９名(帯同指導者を含む)

＜対象選手と実施内容＞

細木咲良(テニス・原商)
・W15 MONASTIR シングルス優勝

二澤未来哉(ホッケー・山陰パナソニック)
・日本代表合宿
景山和葉(ホッケー・東海学院大学)
・Women’s Junior Asia Cup2024

貴舩湊斗(ホッケー・横田高校)
戸屋響哉(ホッケー・横田高校)
福田志矢(ホッケー・横田高校)
古澤知宙(ホッケー・横田高校)
・U18男子ホッケー日本代表オーストラリア遠征

栗原莉来(ホッケー・横田高校)
藤田ゆら(ホッケー・横田高校)
・U18・U17女子日本代表強化合宿

多々納真桜(カヌー・出雲農林高校)
・2024アジアパシフィックスプリントカップ
U18女子カヤックフォア（500m）　3位
U18女子カヤックリレー　2位
U18ミックスカヤック　3位
U18女子カヤックシングル（1000m）3位

飛田統羽(カヌー・出雲農林高校)
立花賢太郎(カヌー・出雲農林高校)
・世界ジュニア選手権大会2024
U18男子カナディアン・ペア(500m)
予選9位

※写真左が飛田選手、右が立花選手

藤倉　萌(カヌー・島根中央高校)
吉村颯人(カヌー・島根中央高校)
河野賢晃(カヌー・島根中央高校)
河野文晃(カヌー・島根中央高校)
兒島生知(カヌー・島根中央高校)
上野有象(カヌー・島根中央高校)
行田朋晃(カヌー・鹿屋体育大学)
松本貢輝ブライアン（カヌー・日本体育大学）

・2024アジアパシフィックスプリントカップ
・2024 Olympic Hopes Regatta・世界ジュニア選手権大会2024

※（写真上）奥より、河野(文)選手　河野(賢)選手　他県代表選手　兒島選手

草場胡美(ライフル射撃・立正大湘南高校)
鎌田燿平(ライフル射撃・東洋大学)
・全日本ミックス・チーム射撃競技選手権大会
　エアピストル(チーム)　１０位

※AP団体　草場選手

山岡大悟(柔道・開星高校)
・筑波大学合宿遠征
福田さくら（柔道・平田高校）
・ベルギー国際柔道大会６３㎏級　第２位

※左端が福田選手

(4) 島根の歴史・文化の魅力発信事業

（古代出雲歴史博物館管理運営事業）（事業費：43,029千円）

島根の特色ある歴史・文化の魅力を発信するため、古代出雲歴史博物館で２件の企画展を開催しました。

①「荒神谷発見！ー出雲の弥生文化ー」
②「山陰の戦乱ー月山富田城の時代ー」

①「荒神谷発見！ー出雲の弥生文化ー」
（令和6年7月12日～9月8日）

本企画展は荒神谷発見40周年の節目の年に、最新の研究成果を踏まえながら、あらためて出雲の弥生文化に焦点を当てるものです。

夏休み期間とも重なり、家族連れを含む多くの皆様に観覧いただきました。

②「山陰の戦乱ー月山富田城の時代ー」
（令和6年10月11日～12月8日）

本企画展は戦いに関わる多様な作品・文化財を通して、戦乱の時代に向き合った山陰の人々や地域の姿に迫るものです。

神在月の開催でもあり、全国から訪れる戦国ファンなど、多くの皆様に観覧いただきました。

5　子どもの読書活動の促進

【対象事業】
⑴ ビブリオバトル島根県大会開催事業
⑵ おすすめしたいこどものほんの事業
⑶ 特別支援学校図書館教育推進事業

【事業の概要及び事業費】
⑴ ビブリオバトル島根県大会開催事業（事業費：196 千円）
　言葉の力や表現力によって、高校生たちが互いに本の魅力を紹介し、最も読みたくなった本を参加者の投票で決定するビブリオバトルの島根県大会を開催し、県内の高等学校から９名の高校生が発表者として参加しました。
　この大会を通じて、開催の趣旨である「人を通じて本を知る。本を通じて人を知る。」というビブリオバトルの理念に基づき、読書活動を推進し、言語能力・コミュニケーション能力の向上を図る機会とすることができました。

⑵ おすすめしたいこどものほんの事業（事業費：2,515千円）
　推薦図書リスト「おすすめしたいこどものほん」（乳幼児向け、小学生向けの２種類）に掲載する本の選書並びに図書の購入を行い、市町村図書館や学校等の団体への貸出や巡回展示を実施しました。
　図書館、幼稚園、読み聞かせボランティア等の活動に役立てるために、リストに掲載された図書を整備し、７つの市町村で巡回展示を実施しました。
　県立図書館では、「おすすめしたいこどものほん2024」の資料展示を行い、夏休み中の子どもたちに貸出・利用されました。

⑶ 特別支援学校図書館教育推進事業（事業費：948千円）

特別支援学校の学校図書館としての機能を整備し、幼児児童生徒の学習活動や読書活動の充実を図るため、幼児児童生徒の発達の段階や障がいの状態に応じた書籍を購入しました。

また、学校図書館の蔵書や読書活動の充実に取り組んだ結果、文部科学省の子供の読書活動優秀実践校に選ばれました。

購入した書籍の一部

- 点字つき本
- テルミ（子どもたちが手で触れる（触る）ことが比較的むずかしい、雲や星、さまざまな動物・植物、電車・車・宇宙船など、「かたち」を触察できる学習絵本）

子供の読書活動優秀実践校文部科学大臣表彰

- 令和６年度表彰校：松江緑が丘養護学校
- 令和７年度表彰校：益田養護学校

６　竹島の領土権の確立

【対象事業】竹島の領土権確立に関する事業

【事業の概要及び事業費】（事業費：11,677千円）

竹島問題の解決に向けた国民世論の啓発を図るための広報啓発活動事業を実施しました。

①「竹島問題を考える講座」の開催

竹島問題への理解を深めるため、竹島問題の研究者等を講師に招き、一般向けの講演会を３回開催しました。

	講　　師	会　場
第1回	県竹島問題研究特別顧問 下條　正男氏	益田市
第2回	県竹島問題研究顧問 升田　優氏	隠岐の島町
第3回	県竹島問題研究会委員 永島　広紀氏	松江市

② 広報啓発資料等の作成

竹島問題の啓発を図るため、啓発資料や啓発用グッズ（※）等を作成し配布しました。

（※「竹島の日」条例制定２０年誌、第５期「竹島問題に関する調査研究」最終報告書、リーフレット、トートバッグ、ボールペン、自由帳、クリアホルダー、缶バッジ等）

③ 竹島資料室の展示内容等の充実

- 竹島資料室展示資料の出張展示実施（県内２会場　７月雲南市、８月隠岐の島町）
- 子供たちに向けた夏季企画展示を実施（7月17日～9月２日）
- 「『竹島の日を定める条例』～条例制定20年を迎えて～」をテーマに竹島の日記念特別展示を開催（1月15日～3月31日）
- 竹島問題の啓発に資するため、大学生５人を学生解説員として委嘱し、竹島資料室に来室された希望者に竹島問題に係るスライドを使い解説を実施（６月15日～3月31日）

7　森林の保全及び整備

【対象事業】県民の森整備費（森林林業体験活動推進事業）

【事業の概要及び事業費】（事業費：4,234千円）

景観維持・安全確保・快適利用のため、県民の森の環境整備を実施しました。

県民参加の森づくり活動の一環として、気軽に参加できる講座を充実させて、県民が森林や自然とふれあう機会を創出しました。これにより県民が森林や林業に対する理解を深め、水を育む緑豊かな森を次世代に引き継いでいく県民意識の醸成を図り、森林林業体験活動のフィールドとなる県民の森において、枯損木の除去や遊歩道の整備・修繕などを行い、景観の維持、訪れた利用者の安全確保と快適利用を図りました。

新緑の指谷山ブナ林縦走

木のボードカレンダー作り

8　防災対策の推進

【対象事業】地域防災人材育成研修事業

【事業概要及び事業費】（事業費：1,399 千円）

地域の防災力向上に向けて、地区防災計画の策定を支援するため防災安全講演会の実施をします。

① 防災安全講演会

題　目：地区防災計画の取組を通じた自主防災活動
講　師：香川大学　磯打　千雅子　氏（特命准教授）
日　時：令和６年１２月２１日（土）
場　所：大東地域交流センター１階研修室
参加人数：６０名

② 防災啓発チラシの作成

「風水害から早めの避難が命を救う」
「災害時の避難のためにできる事前の備え」「みんなでつくる地区防災計画」

９　移住・定住の促進

【対象事業】ふるさと島根定住推進事業

【事業の概要及び事業費】（事業費：49,497千円）
　ふるさと島根定住財団を中心に、市町村や関係団体と連携し、移住相談イベントを実施しました。

① UIターン希望者向け対面型移住相談イベントの実施（東京）
　開催日：令和６年６月１５日（土）
　来場者数：１９２名

② 島根県をオンライン上で訪問するツアー型移住交流イベント
「しまね移住体感オンラインツアー」の実施
　※開催テーマ（参加者数）
　　農林漁業（１４０名）、田舎暮らし（１４０名）、
　　結婚・子育て（７０名）、移住のネック（１１７名）

③ UIターン希望者向けの「移住フェア」、“しまね暮らし”の魅力や楽しさを伝えるための「しまね暮らしマルシェ」同日開催

大阪会場（グランフロント大阪）
開催日：令和６年７月１３日（土）
参加者数：９３５名

東京会場（東京国際フォーラム）
開催日：令和６年１０月１９日（土）
参加者数：１，２０９名

10　結婚・出産・子育ての支援

【対象事業】しまね保育実習等旅費支援事業

【事業の概要及び事業費】（事業費：674千円）

県内での就職を促すため、県外の学生が県内保育所等で実習する場合の旅費の一部を助成しました。

卒業後に島根県内での就職を促すとともに、ひいては子どもを安心して育てることができる環境整備を目的に、平成２９年５月から事業を開始しました。

島根県内の保育所等で実施した保育実習、就業体験及びボランティアにかかる旅費を助成し、旅費を助成した３１名のうち、令和７年３月に卒業の学生は、２６名でした。そのうち進路先が判明している１３名のうち、９名の方が島根県内の保育所等に就職が決定し、現在各保育所等で保育士として活躍されています。

11　災害への応急対応及び復旧

【対象事業】道路橋梁維持修繕事業

【事業概要及び復旧に関する事業】（事業費：20,000千円）

異常な天然現象により発生した災害事象に対して、交通への影響、安全を確保するために対策を実施しました。

① 道路路面の清掃

大雨により、川が氾濫し、土砂が道路上に流出したことにより、交通に影響をきたしたため、路面清掃を実施しました。

② 土砂流出防止対策

大雨により、山から土砂が道路上に流出し、交通に影響をきたしたため、路面清掃を実施し、再発防止のため、方塊ブロックを設置しました。

誰もが、誰かの、たからもの。

どんなに時代が変わっても、受け継いでいきたい
それは、人のつながり、あたたかさ

さりげないけど、ほっとかない
互いの顔が見える、人間味あふれる関わりが心地いい

今を見つめ、未来に想いをはせる
そんな心を、ときに優しくつつみ、ときにそっと背中を押す

大切に育んできた“つながる力”は、
自分のサイズで、一生懸命生きる人を応援してくれる
未来への原動力

人が人のたからもの
誰もが誰かの応援団

いいけん、
島根県

いいけん 島根県

「ふるさと島根寄附金」は「ふるさとチョイス」（QRコード）からお申込みいただけます。
郵送またはFAXによるお申し込みをご希望の場合は下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

（お問い合わせ先）
〒690-8501　松江市殿町1番地
島根県政策企画監室
ふるさと島根寄附金担当
TEL：0852-22-6840
FAX：0852-22-6034
E-mal：kifu@pref.shimane.lg.jp

ふるさとチョイス